



# 南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は 進んで学ぶ子 R2.7.1 No.18

思いやりのある子  
かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



## ○ 「怒る」ことと「叱る」こと ※親向けの内容です。

まず、「怒る」と「叱る」の根本的な違いですが、「怒る」とは、怒り手の感情を外に爆発させること、「叱る」とは、相手により良い方法を教示する(知識や方法などを教え示す)ことです。子どもの困った行動に対し、親がガミガミと感情的に怒ると、その場の雰囲気は険悪になるのはもちろんですが、ダメージはその場だけにとどまりません。

①トゲのある否定語が、子どもの自己肯定感や自信を低下させてしまうおそれ

②親からその感情的な対処法を学んでしまうおそれ

も出てきます。特に②は、(親にされたことと同じことを他人にしてしまい、)その子どもの人間関係にまで悪影響を及ぼす心配があります。

<例1> 親が大声で怒鳴る⇒子どもは「そうか、困ったときはパパとママみたいに怒鳴ればいいんだ」と学習する。

<例2> 親が叩く⇒子どもは「そうか、困ったときはパパとママみたいに叩けばいいんだ」と学習する。

そうして、それらを、友だちとの日常に応用してしまうのです。親に叩かれて(虐待されて)育った子は、親になったときに同じように叩いて子育てをする傾向が強いという話を聞いたことがないでしょうか。子は親の鏡です。知らず知らずのうちに真似をしてしまうのです。

子どもを叱る場面というのは、親の問題解決能力を発揮する場でもあります。お手本になる対処法を示してあげたいものです。

そこで、叱る時のポイントを6つ挙げます。

- 1 過去を引きずらない: ×「いつもいつもダメなんだから」「毎回毎回同じことを言われて」
- 2 叱る範囲を広げない: ×「何をやらせても中途半端だね」「何も聞いていないじゃない」
- 3 その子どもを全否定しない: ×「ダメな子ね」「なんて悪い子なの」「うちの子じゃない」
- 4 今のことだけを叱る: ○「今の言い方は良くないよ」「今やったことはダメなことだよ」
- 5 目の前のことだけを叱る: ○「スリッパをそろえなさい」「机の上を片付けなさい」
- 6 その子どもの行動だけを叱る: ○「それはやってはいけないことだよ」

子どもはよく困った行動をするものです。その行動は悪いことかもしれませんが。だからといって悪い子(人間)ではありません。「今の」「目の前の」「行動だけ」を叱る叱り方なら、子どもの自己肯定感を傷つけることなく、伝えたいことをしっかりと伝えることができます。

もし「理不尽な怒り方をしてしまった」と思ったときは、まずは素直に子どもに謝り、その後は目線を意識的にほめポイントへ移し、「すでにできていること」を積極的にほめて、子どもの自己肯定感を満たしてあげることが大切です。

## ○ こんなことはありませんか? ※親向けの内容です。

学校が完全再開されて1ヶ月が経ちました。一見いつものペースを取り戻したかに見えるのですが、不安が全く解消されたわけではありません。新型コロナウイルス感染症への恐れや、長期間続いた休校、いろいろな制限の下での学校生活により、大きな不安とストレスを抱えているお子様もいるのではないのでしょうか。特に1年生のお子様は、こども園の生活から環境が大きく変化しています。小さいお子様は、環境の変化に慣れないものです。

そこで、(以前と比べて)次のような症状がないか、ぜひチェックをお願いします。

### 【体の症状】

食欲が落ちた 頭が痛い おなかが痛い よく眠れない

### 【行動面の症状】

落ち着きがない しがみついて離れない よく泣く わがままになる 言動が幼くなる  
表情が暗い(笑顔が減った) 学校に行きたくないとよく言うようになる

ご家庭でも、「何が不安なのか」について、親子でよく話し合うことが大切です。お子様から出てきた様々な気持ちは、どんな気持ちであっても否定せず、まずは受け止めてあげてください。話を聞いてもらえた、分かってもらえたということで、かなり安心します。もしも、自分の気持ちをうまく話せない、あるいは、話すよう促してもなかなか言葉が出てこないお子様の場合は、お絵描きをしながらや、ゲームをしながらでも構いません。お子様の話を聞きながら、「その時あなたはどう思ったの?」「どうしたかったの?」「どうするといいと思う?」などと質問を投げかけると、うまく気持ちが引き出せるかもしれません。お忙しいとは思いますが、できる範囲で時間をかけてお子様の心に寄り添ってあげていただきたいと思います。

また、何かご心配な点がありましたら、学校の方へご連絡ください。

※本校のスクールカウンセラー(県子育てマイスター)の林博美先生の『幼子のSOS気付いて』という記事が、地元F新聞に掲載されていました。(6月28日24面)よろしければご一読ください。

林先生は、基本的に月曜日の午前中に勤務されています。ご希望の方には、個人懇談もできます。(予約制です。)

## ○ 給食の様子

今週から給食当番の活動を始めました。他の係活動も始めています。クラブや委員会活動を行うために、毎週金曜日に第7校時も設定しました。(4



～6年生の金曜日の下校時刻が、16:05になります。) 不完全ながらも、以前のような取組が増えたことで、子どもたちはうれしそうです。

昔のヒット曲『ロード』(1993年)の歌詞に、「何でも無いようなことが幸せだったと思う」とありましたが、今の状況ではとても心にしみみます。当たり前のことが当たり前に見えるということは、実はすごく幸せなことで、感謝し、喜ばないといけないことなのかもしれません。